

会山行 No.2268-1

## ザイル祭山行：セドノ沢右俣

- ◆日程 2019年9月7日(土)
- ◆メンバー L：小山田 岡村、佐藤(俊) 河野、山中
- ◆天候 晴れ

一昨年のザイル祭の前に、セドノ沢左俣に連れて行ってもらった。サガミジョウロウホトトギスという丹沢にしか咲かない固有種の花を見たい、という私の希望を聞き入れてもらった形だ。ちょうどザイル祭の時期が見ごろで、今年も沢登りするなら、と、今度は右俣で花も見て、大滝の登攀もできたら楽しい、と欲張ってみた。

大倉から戸沢まで林道を歩く。いつもながら長い。青空が広がっている。暑くなりそうだ。戸沢のトイレに寄り、天神尾根入口を通り過ぎ、水無川の河原で支度をし、入溪。支度中に、すでにヒルにたかられた。先が思いやられる。水無川の F1 には真新しい鎖がかかっているの、それを使う。すぐ右からセドノ沢が入っていて、ご丁寧に看板までかかっている。セドノ沢の F1, F2 を超えると、右俣と左俣を分ける分岐。ここにも看板がある。なにしろ大滝を見たいので、巻けるところは巻いてどんどん進む。途中で河野さんの沢靴が剥がれるハプニング。登山靴に履き替えて登ってらしたが、特に不自由もなさそうで、さすがです。暑い中やっこさ大滝までたどりついたものの、思ったより時間がかかっていたようで、タイムアウト。今日はザイル祭というゴール時間が決まっているので、泣く泣く登攀はあきらめ、次回来た時のために、じっくり観察しながら休憩をとる。左にテラスっぽいところがあり、スリングがさがっている。その上のバンドのようなところを左に上がっていけば抜けられそうだ。残置ロープのようなものも見える。落ち口への直登は、最後が細かくて難しかった、とは 50 年前 (!) に登ったことのある山中さん談。休憩後は右から大きく巻き、F5 も飛ばして沢に戻る。あとは詰め上げるだけ、というところで私が道を間違え、佐藤さんが冷静に助言してくれたおかげで、すぐに政次郎尾根に出た。こんなにツメが楽な沢は初めてだ。しかも尾根に出る直前の岩に、お目当ての花が咲いているのも見られた。大滝は登れなかったが、また次回の楽しみにとっておこうと思う。政次郎尾根を下り、大倉山の家へ急いだ。(記：小山田)

CT：大倉 8:40 - 戸沢 10:00 - 入溪 10:30 - セドノ沢入口 11:00 - 大滝 12:40/13:30 - 表尾根 (政次郎ノ頭) 14:00/14:30 - 戸沢 15:30 - 大倉山の家 16:40



F4 35m大滝



サガミジョウロウホトトギス